

抄遊交

「解剖は手 った。「死因不明社会」
間がかかる。 解決の柱になると考えて
医学の発展を いる。
考えても、ご 先生はA iの制度化を
遺体の客観的 訴え続ける。落選中に先
な証拠をどれだけ残すか 生のテレビ番組に出演
が大事だ」 し、楽屋で「橋本さんが
2008年2月の衆院 首相になったら、私を厚
予算委員会の分科会。私 労相にして下さい。A i
がA i（オートプ を導入して3カ月
シー・イメージン で辞めますから」
グII死亡時画像診 と真顔で言われた
断）について厚生 のが強く印象に残
労働省に質問した っている。丁寧な
ことがきっかけと 語り口でも、正し
なって知り合った いと思うことは妥
のが、医師で作家 協せず語り続ける
の海堂尊先生だ。 芯の強さは学ぶべ
死因の究明に解 きことだ。

A i の先生

橋 本 岳

国会に戻り、今

削は有効だが、遺 体は傷つけることへの遺 是厚労副大臣を務める。